

令和4年度 公益社団法人 静岡県作業療法士会 第5回理事会議事録

1. 開催日時 令和4年12月18日 午後13時00分～17時10分
2. 開催場所 コロナウイルス感染対策のためZOOMにて開催。一部事務局にてリモート形式で参集。

3. 出席者（順不同）

理事総数 15名
出席理事 11名 定足数を満たすため理事会は成立
代表理事 岡庭 隆門（議長）
理 事 村岡 健史 川口 恭子 武内 元 岡本 博行 秋山 尚也
大石 裕也 稲葉 洋介 藤田 さより 齊藤 洋平 加納 彰
部 長 等 大塚 幸二 伊海 友雪 清水 靖子 望月 正貴 尾崎 勝彦
監 事 小笠原 誠 秋山 恭延
事 務 局 坂中 里歌 大庭 俊裕 高岡 留美

4. 決議事項

- 第1号議案 次年度事業計画及び予算案について
- 第2号議案 依頼事項人選について
- 第3号議案 40周年記念誌について
- 第4号議案 地区代表者会議について
- 第5号議案 その他（各部局・事務局・学会からの決議事項）

5. 報告事項

- 報告第1号 47委員会報告
- 報告第2号 第36回静岡県作業療法学会 進捗報告
- 報告第3号 各部・WG報告（職務執行状況・修正対応の報告）
- 報告第4号 その他

6. 開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

・第1号議案 次年度事業計画及び予算案について（会長）

1) 次年度事業指針

- (1) 会員に向けた研修会・学会等は、適切な感染対策及び静岡県作業療法士会の感染状況に応じた活動指標に則った上で、事業を実施。
(子育て世代、勤務形態の多様化に対応した 短時間近隣・オンラインや動画配信による研修への配慮)
- (2) 県民に向けた普及啓発事業は、適切な感染対策及び静岡県作業療法士会の感染状況に応じた活動指標に則った上で、開催方法など前向きに検討。イベント参加に代わる方法として、ウェブ発信などの新しい形も模索していく
- (3) 共益事業については、①②同様に、実施方法を検討し実施をする
- (4) 法人管理事業については、機能強化、可視化、合理化を進める
(資金運用についての整理・部員への報酬体系の整備・講師謝金の見直し)
- (5) 協会＝県士会に向けて県内会員への情報の共有と周知と共に、組織率の維持向上・並びに会員相互の密接な繋がり維持・成熟を目指す。

→承認

・第2号議案 依頼事項人選について（会長）

- 1) 医療観察制度運営連絡協議会：川口副会長が出席
- 2) 三島市介護認定審査会委員：東部地区理事が確認

- 3) 静岡市障害区分認定審査委員：岡庭会長が継続
 - 4) 伊東市介護認定審査委員：東部地区理事で確認
 - 5) 浜松市障害区分認定審査会：西部地区理事で確認
 - 6) 伊豆市介護認定審査会：加納理事が確認
 - 7) 教育領域：伊井理事が確認
 - 8) 認知症アンケート：学術部認知症班
- 上記調整にて承認

・第3号議案 40周年記念誌について（稲葉、伊海、齊藤）

- ・次年度5月広報誌と同封。3月原稿〆切。
 - ・内容は30周年からの10年間の変化を中心に掲載。
 - ・熱海災害について記載を検討。
- 現在の決定事項について承認

・第4号議案 施設代表者会議について

- ・公益部局での開催：調査部
 - ・謝金の取り扱い：税務上の問題はない
 - ・代表者会議規程を作成（謝金についても記載あり）
- 規程の設立、予算について承認

・第5号議案 その他（各部局・事務局・学会からの決議事項）

1) 財務部

(1) 補正予算申請書提出後の今年度事業にかかる費用について

四半期末決算時 予算執行率：47% 公益事業比率：58.1%

補正予算提出：教育部生涯教育、広報部、地域事業部、学術部本体、学術部精神障害班
学術部認知症班、学術部発達領域班、第36回学会、部員謝金

*全体を通して、今年度90万円近い減額の申請となっている

→その後、新事業として「施設代表作業療法士会議」530,171円予算申請あり

(候補) ①40周年記念事業・施設代表者会議の費用を公益事業費に入れる

(事務局付けでなく、公益事業担当部局へ付ける)

②第36回学会

配信業者への準備年度の支払いはないが、業者と相談し前年度の前金の支払いができるか

③広報活動（広報部）、物品購入（パソコンなど：教育部）等はいかがか

→①施設代表者会議と③で承認。

2) 学術部

(1) 学術部本体の会計担当者の青嶋氏が退職に伴い、2月より杉山卓也氏（訪問リハビリテーションテラ）に変更

(2) 精神障害班の会計担当訪問看護ステーション スマイルリラ 中條加奈子氏の産休に伴い、12月より福田西病院の葭川奈美氏に変更

(質疑)

・部員謝金の扱いから、年度末までは部員を継続すべきではないか？（大石）

・11月時点の在籍で判断するが、実働がない場合は謝金の対象外となる（川口）

→承認

3) 福利部

(1) 会議の開催に関して（しずおかOTリーダーミーティング）

11月9日に開催したしずおかOTトークで子育て支援として、Webでの研修会の開催や相談窓口の設置など様々な案をいただきました。（詳細は議事録参照）他部局と共同して県士会として対応していけたらと考えています。

また、各部局で抱えている問題を討論する場、福利部での提案と各部局の抱えている問題を話し合う場としてしずおかOTリーダーミーティングを開催していきたい。

(質疑)

・意見集約は福利部だが、地域代表者会議での課題提起を含め、部局課題については理事会で検討が

必要（会長）

→承認

（2）東海北陸リーダー育成研修会に関して

- ・令和5年は静岡での開催。
- ・Webの1日開催で行うまたは参集して2日開催で行う。

（質疑）

- ・宿泊を伴う参集は現状で難しい。1日で参集は可能か？（会長）
- ・他県からの参集では、開始時間から1日開催は難しい（齊藤）

→ハイブリッド開催とし、静岡は参集、他県はリモートで行うことを前提に承認

4）地域包括ケアシステム推進委員会

（1）委員の任命（駿東地区圏域副代表）

社会医療法人 青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院

氏名：小倉 知大（おぐら ともひろ）経験年数：12年目 協会会員番号：57398

→承認

（2）市町担当者の配置に向けた体制整備について

現在、9圏域に代表・副代表を配置している。今後、協会の方針に基づき静岡県各市町担当者の配置を検討しており、市町担当者についても、当委員会の委員として委嘱状の交付をしたいと考えている。

→承認

5）事務局

（1）新規入会者の承認 新規入会者：8名

→承認

6）総務部

（1）学生会員規程（案）について

- ①基本的なアウトラインの確認をお願いします。
- ②特典の内容についての確認をお願いします。会報誌の配布が可能か（広報部）、スポーツ大会の開催は可能か（福利部か地域事業部）

（質疑）

- ・学生会員の範囲は県内養成校のみか？（大石）
- ・県内養成校と考えている（藤田）
- ・福利活動については、既存の範囲から考えてはどうか？（会長）
- ・参加できる研修会はどのように設定するか？（齊藤）
- ・各部局の判断と考えている（藤田）
- ・部員謝金は発生するのか？（大塚）
- ・部員謝金については、会費納入している県士会員が対象となるため、学生はボランティア扱いとする（藤田）

→引き続き検討していくことで承認

（2）永年会員規程（案）について

- ①65歳以上の会員について、協会の永年会員制度を参考に作成。
- ②会費は協会（3,000円）に合わせるか。県士会はそれ以上安くしたほうが良いか。

【参考】年間の会報誌や総会資料等の送料：1人あたり1,290円程度

- ③後進育成については、65歳以上会員の役割を明確にし提示。
- ④総会での議決権は交付される方向。

（質疑）

- ・入退会は、通常会員と同様に協会に準ずる形か？（大石）
- ・そのように考えている（藤田）
- ・入会の条件（通算20年以上の加入者）は緩和してよいのではないか（会長）
- ・人材活用を見通して規程を設けては？（小笠原）

→引き続き検討していくことで承認

8. 報告事項

- ・報告第1号 47委員会報告(会長)
 - ・名称が48会議に変更となる予定
 - ・組織率低下に伴い、資金(会費)の不足が懸念され検討が必要
 - ・事務局機能の体制変更
- ・報告第2号 第36回静岡県作業療法学会(岡本)
 - ・各種プログラム、演題など進捗について報告
- ・報告第3号 各部・WG報告(職務執行状況・修正対応の報告)

1) 財務部(川口)

- (1) 部員謝金支給: 11月に申請のあった部員90名に支給実施済み
- (2) 次年度予算申請書提出依頼: 12月20日〆切
- (3) 監事監査: 12月18日(日)事務局にて実施
- (4) 会計突合作業実施、財務部会議開催
- (5) 今後の予定: 1月16日(月)19:00~ 予算審議委員会 準備会議
1月下旬・2月上旬(2回実施の可能性もあり) 予算審議委員会
- (6) 講師謝金変更: 協会の変更に準じて変更予定
- (7) 理事報酬: 理事業務時とスタッフとして参加した場合は区別して検討予定

2) 学術部(川口)

- (1) 東部地区
 - ・第36回学会実行委員と学術部員を兼務しながら学会業務を進めていく。
- (2) 高次脳機能障害班
 - ①OTしずおか高次脳機能障害勉強会(SIG)
 - ・第30回OTしずおか高次脳機能障害勉強会(10月16日): 参加者34名
 - ②モビリティWG
 - ・モビリティ・マネジメント研修会(12月3日): 参加者7名
 - ③精神障害班
 - ・第2回研修会(10月29日): 参加者: 18名
 - ・第3回研修会(2月12日)
 - ④精神科WG
 - ・静岡県自立支援協議会地域移行部会(12月3日)
 - ⑤発達領域班
 - ・人材育成研修(10月16日): 参加者28名
 - ・公開講座(1月29日)
 - ⑦認知症班
 - ・認知症ステップアップ研修(1月15日)
 - ⑧認知症WG
 - ・当事者支援者を迎える研修会(2月18日)
 - ・協会主催「認知症に関わる士会担当者の意見交換会」(1月29日)
 - ・認知症への取組アンケート回答(1月6日締切)
 - ・家族会より寄付金受領書が届いており、事務局管理となっている
 - ⑨学術部全体として
 - ・会計担当者変更: 杉山卓也氏(訪問リハビリテーション テラ)に変更
 - ・第3回学術部責任者会議(11月9日)
 - ・認知症班の家族会への関わり方
 - ①家族会と県士会のパイプ作り、②県士会員への情報発信

3) 教育部(秋山理事)

- (1) 研修会報告
 - ・現職者共通研修: 職業倫理、作業療法の可能性(11月6日): 参加者93名
 - ・現職者共通研修: 事例検討・事例報告(12月2日): 参加者40名
 - ・研修会準備において、事務作業が過負荷となる傾向あり、業務改善が必要
- (2) 生涯教育手帳の移行手続き
 - ・2022年12月1日から2023年2月28日までの期間で手続きを再開

- ・静岡県での押印対応期間：11月28日（月）～2月3日（金）まで

(3) 臨床実習指導者講習

- ・第1回：7月23日（土）・24日（日）：修了者数69名
- ・第2回：10月22日（土）・23日（日）：受講者数70名（当日欠席3名）
- ・累計：静岡県臨床実習指導者：77名、2020年度修了者：287名、2021年度修了者：212名
2022年度修了者：69名+70名 合計：715名（2021年度目標数600名を達成）

(4) MTDLP 班

- ・全国推進会議出席
- ・研修会開催（12月11日）参加者4名。
- ・現職者選択必修研修（2月12日）

(質疑)

- ・事例報告会は今年度何回開催し、何名の報告があったか？（秋山監事）
- ・年度当初の予定通り2回実施。計24名が発表（秋山理事）
- ・基礎研修終了に向けては事例報告が必須。ドロップアウトが増えないように配慮を（秋山監事）
- ・修了者が減少している。課題として検討する（秋山理事）
- ・手帳移行はポイントについてか？（秋山監事）
- ・生涯教育手帳の情報全てを移行する（秋山理事）
- ・より一層の広報をお願いしたい（秋山監事）
- ・研修会参加費の確認は会計担当者の負荷が大きい。納入期間を設け、確認作業が減るように工夫してはどうか？（岡本）
- ・銀行へ通帳記帳に行かずに済む方法を、事務局や財務で検討すべき（会長）
- ・部局毎に口座を分けないと管理が出来なくなる（川口）
- ・支払について、オンライン決済を進めてはどうか（大石）

4) 広報部（大石、伊海）

(1) 部会開催：令和5年度事業計画について

(2) 会報誌

①校正査読の強化

②特別企画「静作が行く！！突撃○○！！」の検討

- ・自助具を自由研究したお子さんにインタビューを行う予定。
- ・次年度は地域事業部と連携したい

③今後の発行時期、締め切り

- ・148号 2月中旬 締め切り 12月末
- ・公式LINEの公開記事を掲載
- ・149号 5月中旬 締め切り 3月末
- ・150号 8月中旬 締め切り 6月末
- ・151号 11月中旬 締め切り 9月末
- ・152号 2月中旬 締め切り 12月末

(3) ホームページ班

① 一般向けページの内容を検討

- ・県士会の事業や公開講座などを定期的に掲載
- ・一般向け広報誌の内容を掲載し、閲覧できるよう工夫していく

②アクセス解析

③LINEの導入状況

- ・公式LINEの立ち上げ実施
- ・次号、会報誌にLINE登録記事を掲載
- ・月に2回12時30分に、県士会の研修会の情報を投稿
- ・現状（12/17時点）登録者11名でテスト配信中

(4) ノベルティについて

- ・メディメッセージにて在庫数が減少。来年度補充のための発注を計画数は多すぎないように、在庫数を確認して発注計画を行う

5) 渉外部（会長）

- ・渉外活動実施

6) 福利部 (齊藤)

(1) しずおか OT トーク (11月9日): 参加者: 午前6名、午後12名

(2) 次年度計画

①東海北陸リーダー育成研修会

- ・次年度は東海北陸リーダー育成研修会が静岡開催 (第9回静岡リーダー育成研修会と同時開催)
- ・Webで開催予定
- ・1日開催、講義形式(2講義)とグループワーク、発表
- ・講義は: リーダーシップなどを検討
- ・11月頃開催予定
- ・ハイブリッド形式も検討 (県内は参集も検討)
- ・ナイトセミナーは検討 (クオカードを各県士会に配布し、飲食しながら実施)

7) 地域事業部 (大塚)

(1) メディメッセージ2022 in キラメッセぬまづ (11/26、27)

①ブース来場者: 26日 583名 (うち子供 174名)、27日 542名 (うち子供 267名)
2日間合計 1125名 (3年前より約200名ほど増)

②スタッフ 26日 21名 27日 21名

(質疑)

- ・必要なスタッフ数は何名が妥当か? (村岡)
- ・今回は臨機応変な対応が出来、妥当だった (大塚)
- ・ノベルティ配布の感触について、フィードバックをもらいたい (大石)

(2) フォトコンテスト (9/25~12/31)

①フォロワー 308名 (写真家やカメラが趣味の方が中心)

②アカウントへのアクセス数: 通算 11093件 (広告からのインタラクション 97.6%)

内訳 男性 34.3% 女性 65.6%

上位の年齢層 35~44歳; 37.6%、45~54歳; 28.8%、25~34歳; 20.8%

55~64歳; 11.3%

作品応募: 430件 (12/11 現在)

※1月から1次審査を予定。10点に絞る予定。2次審査では理事の審査をお願いしたい。

最終的に3点を選考する。(選考方法: グーグルフォームから入力できるように調整中)

(質疑)

- ・フォトコンテストはどんな作品が投稿されているのか? (小笠原)
- ・主にお子さんの写真が多い印象 (大塚)
- ・作品はその後どう扱うのか? (小笠原)
- ・最終候補者に記念品等を贈呈する所まで。次年度以降に向け検討する (大塚)

(3) 今後の予定

①出前講座: 1月20日 清龍館高校 (次世代育成事業)

(4) 東部地区 (岡本)

①東部地区メール網 配信 (登録135名): 16件 配信 (10/16~12/15)

8) 調査部 (岡本)

(1) 部内会議: 12月12日

- ・事業報告、事業予定、会計予算、その他

(2) 生活環境支援推進室会議への参加

①第14回 静岡生活環境支援推進室 会議 (10月26日)

②第15回 静岡生活環境支援推進室 会議 (12月6日)

(3) アンケート作成

- ・第36回静岡県作業療法学会参加者アンケート作成 開始

9) 制度対策部 (加納)

(1) 第1回制度対策部研修会 (10月28日): 参加者13名+スタッフ2名

(2) 第2回制度対策部研修会

- ・講師の方のスケジュールが1月中旬に調整が難しくなり、2月にずれ込んでしまうため、今年度は中止として次年度に開催する予定

(3) 令和6年(2024年)の医療・介護の同時診療報酬改定

(4) 制度対策部研修会アンケート結果

1 0) 地域包括ケアシステム推進委員会

(1) 令和4年度地域リハ推進リーダー研修会

①地域リハ推進リーダー研修会（基礎編）（オンデマンド）参加者 40 名

②地域リハ推進リーダー研修会（応用編）（対面研修）参加者 26 名

(2) 座談会企画について

・上記研修会のフォローアップ目的に実施（講師2名も参加）参加者 14 名

(3) 令和5年度地域包括支援委員会の活動について

・各市町村のOT担当配置に向けた5カ年戦略

(4) 令和5年度活動計画

①アンケートの実施

地域支援事業に関する情報について調査を実施（認知症班・調査部との連携を検討）

→市町担当者の発掘

②地域リハ推進リーダー研修会の開催

地域事業へ協力できる人材の発掘と育成

③座談会

地域のネットワーク（横のつながり）の構築と、事業実施における相談場所

④人材育成研修会

すでに地域支援事業に関わっている人材の更なる育成を目的とした研修

・地域支援事業の実施における作業療法士の活動モデル

・地域行政とのつながり、パイプを作るための施策の検討

1 1) 災害対策委員会（村岡）

(1) 第11回静岡災害リハビリテーション研修会（12月3日）参加者 63 名

(2) 災害対策委員会 会議

①3月29日②5月31日③7月26日④9月20日

(3) 静岡 JRAT 災害対策委員会 合同会議

①4月21日②5月26日③6月30日④7月21日⑤8月25日⑥10月6日

⑦11月17日⑧12月3日

1 2) 法人管理委員会（武内）

(1) 予算審議委員会前の準備会議（1月16日）

・「財務中長期ビジョン会議」と位置付けて開催予定。

1 3) 表彰委員会（岡庭）

(1) 学生優秀賞：候補者推薦の依頼を1月上旬に県内養成校に郵送予定。

今まで USB を贈呈していたが、他のアイディア募集中。

1 4) 生活環境推進室（岡本）

(1) 会議開催

①第14回会議：10月26日②第15回会議：12月6日

(2) 今後の予定

①次回会議予定 2022年1月

1 5) 訪問リハビリテーション委員会（齊藤）

(1) 研修会・シンポジウム開催予定（オンデマンド、ハイブリッド）

1 6) 事務局（武内）

(1) 県士会員数：1,772名（11月30日現在） 東部 590名・中部 451名・西部 731名

(2) 新規入会者：8名 累計：108名

(3) 会費納入状況

①2022年度会費納入者 1,710名 コンビニ払い1,677名 郵便振込み 33名（11月30日現在）
納入者数、会員の97%

②過年度会費未納名簿 16名 別紙②参照

③会費請求書郵送（12/8） 95名

(4) ZOOM 利用申請 (各部署) 10月～12月 35件

(5) 事務局冬季休暇について: 12/30～1/5

(6) 組織率対策委員会

日本作業療法士協会に委員会として新たに設置された。組織率低下という喫緊の課題に対して、協会と職能・職域・養成校がそれぞれ連携を図りながら課題分析や方法論について議論し進めている。今後職能・職域・養成校にそれぞれ調査依頼をしていくこととなる。

構成員: 都道府県士会 (4名)、学校養成施設教員 (専門1名大学1名)、職場 OT 管理者クラス (3名)、協会事務局

①2022年10月19日 キックオフ会議 (顔合わせ、現状報告、意見交換)

②2022年11月18日 第2回会議 (委員会の進め方、スケジュール)

③2022年12月9日 第3回会議 (各委員からの意見集約シートの報告、アンケートの実施についての報告)

(次回)

2023年1月に第4回会議を開催予定

1.7) 総務部 (武内)

(1) 施設代表者会議

・日程: 2023年1月29日 (日) 9:00～12:30

・形式: web (基地局: 事務局隣会議室)

・案内状・公文書を発送

・中村会長の謝金について規定がない。5,000円が妥当ではないか。

(2) グループウェア

・ラインワークスを総務部で試験的に検討している。

・情報共有やデータ管理の観点で費用対効果を含めて検討中。

(3) 物品管理について

・物品は事務局、学術部、教育部、福利部、広報部、地域事業部、表彰委員会が所有しており、物品管理台帳に入力済み。

・今後、規程上管理が必要な物品に関しては、登録番号を付けラベリングをする予定。事務局に保管してある物以外は、保有者にラベルシールを渡すので貼付を依頼。

(4) 令和5年度社員総会

・次年度は役員改選もある。選挙管理委員会と年内中にすり合わせ

・施設代表者会等も踏まえて議題として挙げることを検討していく。

1.8) シズケアかけはし (加納)

(1) 説明会: 3回実施

(2) アンケート: 依頼中

(3) 報告会: 2部体制で実施予定

1.9) 作業療法連盟 (稲葉)

(1) 自民党県連厚生問題対策連絡協議会 出席

・報告第5号 その他

1) 令和4年度 第6回 理事会

(候補日): 2月週末で調整

以上

議事録作成者: 坂中里歌・大庭俊裕